

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公表番号】特表 2002-529408 (P2002-529408A)

【公表日】平成 14 年 9 月 10 日 (2002.9.10)

【出願番号】特願 2000-580616 (P2000-580616)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/22 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/22

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 8 日 (2006.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 アポトーシス誘導により治療上の利益が得られる病気の治療のための、プロピオニル L-カルニチンまたは医薬上許容されるその塩を含む医薬組成物。

【請求項 2】 高血圧症の治療のための請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】 肺高血圧症の治療のための請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 4】 血管形成または冠動脈ステント術後の再狭窄の予防のための請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 5】 腫瘍の治療のための請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 6】 プロピオニル L-カルニチンの塩が、クロライド、ブロマイド、オロテート、酸アスパルテート、酸シトレート、酸ホスフェート、フマレートおよび酸フマレート、ラクテート、マレエートおよび酸マレエート、酸オキサレート、酸スルフェート、グルコースホスフェート、タートレートおよび酸タートレートから成る群から選択される請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】 抗癌剤およびプロピオニル L-カルニチンを含む、組み合わせ、ただし、該抗癌剤はドキソルビシンではない。

【請求項 8】 抗癌活性に関して補助作用を示す有効量のプロピオニル L-カルニチンを含む、請求項 7 記載の組み合わせを含む抗癌活性を有する医薬組成物。

【請求項 9】 プロピオニル L-カルニチンまたは薬理学上許容されるその塩の一つおよび抗癌剤を個別の投与形態として有するパッケージまたは製品であって、活性成分の協調的同時摂取または定期摂取に関する使用説明書を有するパッケージまたは製品、ただし、該抗癌剤はドキソルビシンではない。